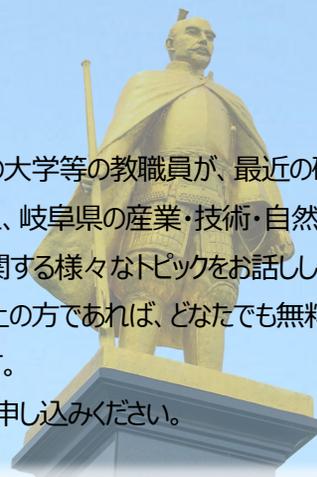


岐阜

にと生きる

岐阜県内の大学等の教職員が、最近の研究成果などを踏まえ、岐阜県の産業・技術・自然・教育など、岐阜に関する様々なトピックをお話します。高校生以上の方であれば、どなたでも無料でご参加いただけます。

お気軽にお申し込みください。



- 第1回 5月30日(木) **岐阜県の食生活の特徴と健康長寿を意識した食事のひけつ**  
岐阜医療科学大学 保健科学部臨床検査学科 教授 江崎 由里香
- 第2回 6月13日(木) **パラスポーツ「ボッチャ」に魅せられて -競技スポーツからみんなのスポーツへ-**  
岐阜保健大学 リハビリテーション学部理学療法学科 教授 石塚 和重
- 第3回 6月27日(木) **地球環境と繊維製品**  
岐阜市立女子短期大学 デザイン環境学科 准教授 太田 幸一
- 第4回 9月12日(木) **大学と地域連携**  
大垣女子短期大学 総合教育センター 教授 茂木 七香
- 第5回 9月26日(木) **多文化共生に関する本学の取り組み**  
中日本自動車短期大学 自動車工学科 学生部部长 鈴木 泰成
- 第6回 10月10日(木) **ごみのポイ捨てはモラルの問題か？**  
高山自動車短期大学 教授 長野 達也
- 第7回 10月24日(木) **「こころ」と岐阜県の食材**  
平成医療短期大学 看護学科 教授 眞田 正世
- 第8回 11月 7日(木) **岐阜県での算数・数学甲子園の取組について**  
岐阜工業高等専門学校 一般科(自然) 教授 中島 泉
- 第9回 11月21日(木) **限界集落のすすむ山の集落から学ぶこと**  
情報科学芸術大学院大学 メディア表現研究科 教授 金山 智子
- 第10回 11月28日(木) **人々が住み慣れた地域で暮らし続けるために -入退院支援の実際を知ろう-**  
岐阜県立看護大学 地域基礎看護学領域 教授 藤澤 まこと ほか

受講料  
無料

時間：14:00～15:30 (13:40～受付開始)

会場：岐阜商工会議所 4-A会議室【裏面参照】

申込方法：①ホームページの申込フォーム お申込はこちらから →  
②FAX：058-293-3484 ※各回とも先着50名まで

申込受付期間：

3月21日(木)～

第1回 5/30(木)	人生100年時代と言われていますが、平均寿命と健康寿命の間には約10年の差があります。健康に生き残るためには、日頃の食生活も重要な要因になりますが、岐阜県民の栄養調査によると、野菜摂取量の不足や食塩摂取量の過多等が報告されています。健康的な食生活を送るためにはどのようなことを意識すべきかを、日頃の食事内容だけでなく、食事を摂る環境も含めて皆様と一緒に考えていきます。3年連続日本一になった「岐阜のモーニング文化」にも健康のひけなが隠されています！
第2回 6/13(木)	バラスポーツ指導員として活動して40年になります。バラスポーツ「ポッチャ」は重度障がいの方々のスポーツです。重度障がいの方々がスポーツを通して輝いている姿は素晴らしいものです。2016年リオデジャネイロパラリンピックのチーム戦で銀メダルを獲得し、東京オリンピック・パラリンピックでは個人戦で金メダルを獲得することができました。本講演では「ポッチャ」についての魅力と、競技スポーツからみんなのスポーツへの活動を紹介します。
第3回 6/27(木)	2022年にフランスで施行された世界初の「衣服廃棄禁止令」に続き、EUでもアパレル事業者に残った服や靴などの衣料品を廃棄するのを禁じる法案が合意されている。岐阜アパレルをはじめ繊維製品に求められている環境問題と対策について解説する。
第4回 9/12(木)	岐阜県では多くの大学が地域連携に取り組んでいます。大学と自治体との包括連携協定の締結、地域イベントへの学生の参加など、様々な形で行われているこれらの活動は地域や学生に何をもたらしているのでしょうか。本学で3年前に発足した若年消費者啓発の産学官連携プロジェクト「買草革盟（パイヤーカクメイ）」を例に、大学と地域連携の今後の在り方や可能性について参加者の皆様と一緒に考えます。
第5回 9/26(木)	留学生が大変多く在籍する本学では、多文化共生を基本方針に取り入れ様々な取り組みを行っている。また海外研修Ⅰ、Ⅱの科目が設定されており、イタリアへの研修旅行を実施している。このような取り組みを行うことにより、文化の異なる学生間の交流の促進を図り、また、海外を訪れ異なる文化を肌で感じるにより、学業だけでなく様々な学びができるように配慮している。この経験が、今後外国人労働者が増加するであろう日本で働く際に、学生の糧になることを期待している。
第6回 10/10(木)	諸外国との比較で日本は「ごみが落ちておらず清潔だ」といわれることがある。その一方で、花見や花火大会など大勢が集まるイベントではポイ捨てごみがしばしば話題となる。ごみのポイ捨てについては「モラルの問題」とされることが多いが、果たしてそのような捉え方は正しいのだろうか？本講座では、経済的誘因を適切にデザインすることでごみのポイ捨てを減らす方法を検討したい。
第7回 10/24(木)	近年、栄養がヒトのところに影響を与える可能性が示されてきています。よい栄養を取ることは、からだの健康だけではなく、こころの健康にも影響があります。ストレスを回避し豊かなこころで生活するためのひとつの方法として、岐阜県内の食材に焦点を当てて皆さんと共に考えてみたいと思います。
第8回 11/7(木)	講演では、算数・数学甲子園での最近の取組（『解析概論』『代数的整数論』などの今も名著とされる数学教科書を著した高木貞治は、第1回フィールズ賞選考委員を務め、文化勲章も受賞している。岐阜工業高等専門学校では、地理的に高木貞治の生家と近いことが縁となり、本巣市に協力して数学での地域おこしの取組を行っている。）などを紹介する。
第9回 11/21(木)	山の王国とよばれる岐阜県では、美しい自然に囲まれた中山間部にたくさんの集落がありますが、近年では少子高齢化や産業の衰退などで、限界集落化がすすみ、大きな課題となっています。一方で、こういった集落の伝統や古い仕組みが長い時間の中でいかに継続されてきたのかという点に目を向けると、これからの社会にとって大切なことが見えてきます。講義では、岐阜の中山間部の集落から何が学べるのかを一緒に考えていきます。
第10回 11/28(木)	わが国では人々が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けること目指し「地域包括ケアシステム」が構築されてきた。私たちが病いを患い、障がいをもった時に、傍に介護職者は本人・家族のこれまでの人生や思いを尊重し、今後の生き方を共に考え、多職種と協働して望み療養生活の実現に向け支援している。そこで入院病棟・外来で受けられる入退院支援の実際を紹介し、参加者自身の今後の生き方を考える機会とする

**【注意事項】**  
 ※1. 日中連絡の取れる番号をご記入ください。  
 ※2. @gifu-uc.jp からのメールを受信可能な設定にしてください。

**講義会場**  
 岐阜商工会議所 4階 4-A会議室  
 【岐阜市神田町2-2】



**FAX用 受講申込書**      **FAX送付先番号 058-293-3484**

以下の通り、ネットワーク大学コンソーシアム岐阜 令和6年度公開講座<岐阜に生きる 岐阜と生きる>に参加を申し込みます。

氏名	フリガナ	年齢	性別
		歳	
電話番号	※1		
メールアドレス	※2		
住所	〒 -		
受講希望回	<input type="checkbox"/> 第1回 (5/30) <input type="checkbox"/> 第2回 (6/13) <input type="checkbox"/> 第3回 (6/27) <input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 第4回 (9/12) <input type="checkbox"/> 第5回 (9/26) <input type="checkbox"/> 第6回 (10/10) <input type="checkbox"/> 第7回 (10/24) <input type="checkbox"/> 第8回 (11/7) <input type="checkbox"/> 第9回 (11/21) <input type="checkbox"/> 第10回 (11/28)		
個人情報取扱の同意	今後、講義や講座情報をご案内するためにお名前・住所等を利用させていただいてもよろしいでしょうか。 <input type="checkbox"/> 同意する <input type="checkbox"/> 同意しない		

お申し込み時にいただいた個人情報は、講座担当大学等と共有させていただく場合があるほか、休講など講座に関するご連絡やコンソーシアムからのイベント情報のご案内（同意を得た方のみ）に利用させていただきます。情報は厳重に管理し、法令上の理由など特段の事情がない限り許可なく第三者への提供はいたしません。